

平成21年度機構営事業等再評価第三者委員会（第2回）議事概要  
（水資源機構 豊川用水二期事業）

1. 対象地区：豊川用水二期事業
2. 開催日時：平成21年7月22日（水） 15：45～18：00
3. 開催場所：農林水産省地下1F 農村振興局第4会議室
4. 出席者：別紙のとおり
5. 第三者委員会の概要  
「再評価（案）」について  
・第三者委員会（第1回）にて指摘された意見等に対する説明を行いを承された。

第三者委員より次の意見が示された。

- ・本地域は、豊川用水の通水によって農業用水の安定的な供給が可能となり、日本有数の施設園芸やキャベツの産地に発展した。豊川用水施設は極めて重要な役割を担っている。
- ・本事業は、老朽化した豊川用水施設の改築等を実施するとともに、豊川総合用水事業等の関連事業と一体的に運営することで、高い効果が発現すると期待できる。
- ・併設水路については、工事や維持管理作業中も安定的な通水を可能とすること、効率的な水利用やリスク低減等の付加価値があることから必要であり、その意義は極めて大きいと考えられる。
- ・大規模地震対策については、近い将来高い確率で発生することが想定される東海・東南海地震に際しての災害防止やライフラインの確保、石綿管除去対策については、健康被害の防止という面から、それぞれに大きな意義を有する対策が本事業の中で効果的に実施されている。
- ・事業コスト縮減や環境との調和、関係団体の意向に配慮しながら、今後も引き続き、適切に事業を実施していくことが望まれる。
- ・一連の豊川用水事業は、本地域の農業及び地域経済を大きく発展させた。そのことは多くの先人の努力があってはじめて実現した。しかし世代交代が進み、豊川用水はあって当たり前のようにしか思われなくなることが懸念される。その維持管理や改築の意義も含めて、関係するすべての地域の人々が改めて豊川用水の存在と価値を認識していくことが重要である。

平成21年度機構営事業等再評価第三者委員会（第2回）  
（水資源機構 豊川用水二期事業）

## 出席者名簿

平成21年7月22日

氏名（敬称略）	役職	備考
（第三者委員会）		
飯尾 歩	中日新聞社論説委員	
荻野 紀子	全国生活研究グループ連絡協議会顧問	
中嶋 康博	国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	
溝口 勝	国立大学法人東京大学大学院情報学環教授	
（事業管理委員会）		
田村 栄二	農村振興局 整備部土地改良企画課 課長補佐（統括）	
野原 弘彦	整備部水資源課 水資源企画官	
三橋 勝彦	整備部農村整備官 農村整備調査官	
（事業管理委員会幹事）		
阪口 正博	農村振興局 整備部水資源課 水資源機構業務班 課長補佐	
（事務局）		
木内 正彦	農村振興局 整備部水資源課 水資源機構業務班 事業調整係長	
原口 智	事業調整係員	
（オブザーバー）		
廣瀬 伸	(独)水資源機構 水路事業部 水路事業部長	
稲木 道代	設計課長補佐	
壺岐 宏	中部支社 建設部 第二事業企画課長	
内山 直治	豊川用水総合事業部 部長	
岡田 明	調整課長	